

ごあいさつ

当院では、血管系・非血管系の画像下治療を専門に行うIVR外来を、2019(令和元年)年6月より新設いたしました。最新鋭の血管撮影装置、X線透視装置、超音波検査装置にて透視した画像を使用しながら体内の病変を確認し、カテーテルや針を用いて病変に到達させ、標的となる病気の治療を行っています。

IVRは、体に傷跡がほとんど残らず、患者様の体への負担が圧倒的に少ない、心と体に優しい低侵襲治療という特徴を持っています。血管の詰まりやがんの治療など幅広く対応できる病気が多く、高い治療効果が期待できます。

当院のIVR治療体制は、がん・総合診療部門、麻酔部門から構成されており、各部に専門医を配置しています。また、専任の看護師、診療放射線技師が良好な連携をとり、医師と力を合わせて優れたチームワークの展開を目指しています。

2020(令和2年)年1月には、日本インターベンショナルラジオロジー学会より、専門医修練施設として認定を受け、2020(令和2年)年1~12月集計における治療件数は、約200件となりました。

今やIVRはさまざまな医療の領域で欠かせない存在となっています。

IVR治療のご要望がございましたら、地域医療連携室までご連絡ください。



日本IVR学会
専門医修練施設認定証

医療法人社団 公仁会
榎殿順記念病院 殿

貴施設を日本インターベンショナルラジオロジー学会専門医修練施設認定の審査基準により修練施設として認定します

認定番号 第395号
認定期間 2020年1月1日より
2024年12月31日

2020年3月1日
一般社団法人
日本インターベンショナルラジオロジー学会
理事長 吉川 公隆



榎殿順記念病院 院長
日本IVR学会専門医
放射線科

内 藤 晃